

(平成 29 年 1 月 11 日集計)

I. 概 況

内閣府が 12 月 21 日に公表した月例経済報告で、「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」としている。

一方県内中小企業では、人手不足・コスト上昇等の影響で多くの業種が苦戦を強いられており、先行きの見通しが立たないという声が多く聴かれ、引き続き厳しい状況が続いている。

II. 業種別状況等

<製造業>

① 食料品

12 月は昨年並であった。1 月は、海外との取引に向けて契約を交わす予定があり、諸条件を含め検討している。

② 印刷

年末需要も 12 月上旬で落ち着いてしまい、業況は前月より落ち込んだ。ただ、年末需要をみると顧客の多くは活力を取り戻しつつあるように思われるので、新年への期待を膨らませたい。

③ 鉄鋼・金属

価格の高い海外大口案件が入っているのと新機種の生産が本格的に稼動するため、生産量・売上・収益ともに先月度並みに確保できると予測される。

④ 一般機器

12 月の受注状況は年末需要で少し持ち直したものの、依然として業況は厳しいものがある様子。昨年に比べ年末年始の休業日数が 1、2 日増えた企業が増加している状況です。

⑤ 輸送機器

12 月の売上高は、前月比で 105%、前年比で 105%となった。繁忙期に入るものの生産台数は前月比・前年比ともに減少している。モーターサイクル市場は世界的に伸び悩んでいるが、単月ではアジア向けのノックダウン部品出荷の回復で前月比・前年比ともに増加した。

⑥ その他

不安な要素が続いている。シーズン物で国産製品の需要増で活性化の取り組みを行っているが、現在は影響を受けて伸び悩みの状況である。当月は首都圏展示会でどれほど商談を得られたか、また新年 1 月には海外への展開事業もあり、期待している状況である。

<非製造業>

⑦ 卸売業

年末売上は期待はずれに終わりました。利益率は向上しました。しかし各社によって異なります。市場拡大期待が出来ない状態が続いています。新規商品による拡大か、又は提案営業拡大が必要です。

⑧ 小売業

今月は、特に高額商品取扱店舗が好調で、客数は少なかったものの良い結果が得られた。衣料品は、暖冬の影響で今月も厳しい結果に終わっている。

⑨ 商店街

今月は雨の日も多く、歳末の盛り上がりも今一つで、前年に比べて良くなかった様です。飲食業も家族の外出を控えているせいか良くない様です。中小企業への思い切った消費者に対する活性化対策が欲しいものです。

⑩ サービス業

年末は、やはり、お客様の来店者数が多い月です。

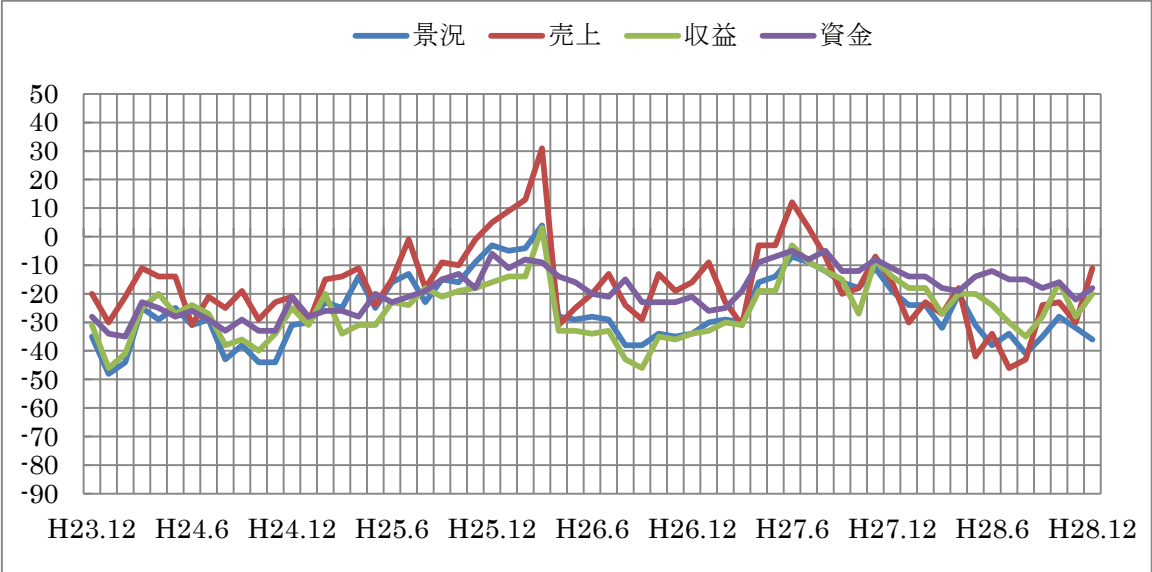
⑪ 運輸業

全体を通してみれば平均的な 12 月の忙しさであったが、年末の食料品関連の配送や宅配関連の配送は、人手不足の影響で例年になく混乱した状況であった。ドライバー不足により単純に車両台数を増やすわけにもいかず、月末・連休前等のトラック不足は限度を超えた感は否めない。無理な運行を強いられる状況が日常化しているのが実情です。

⑫ その他

年末年始の稼働、商品の供給に対し、パートタイム社員の勤務時間調整が響き、コストは上昇する傾向にある。

景気動向（前年同月比）の推移（D I 図）



項目 業種	景況	売上	収益	資金
製造業	-30%	8%	-11%	-5%
非製造業	-43%	-30%	-30%	-30%
総合	-36%	-11%	-20%	-18%

【凡例】



快晴



晴れ



くもり



雨



大雨

基準(DI値)

30以上

10以上～30未満

-10以上～10未満

-30以上～-10未満

-30未満

【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県中小企業団体中央会

担当：情報・総務部 情報支援課

TEL：078-331-2045

【全国版の月次景況調査について】

全国中小企業団体中央会が毎月20日頃に公表しています。

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>